



高等学校卒業とともに自立を求められることの多い児童養護施設の子どもたちは、まだ自活能力が十分でないことも多く、卒業後の自立に向けた支援（アフターケア）が課題となっています。

令和元（2019）年8月、

このサポート体制の充実を図るべく、板橋区と区内3つの児童養護施設との間で、アフターケアに係る協定を締結しました。

児童養護施設では、子どもたちが卒業した後も引き続きアフターケアを実施し、区では、家賃助成をはじめとする支援を行うことなどを通じて、卒園者の自立を支援していきます。

協定締結式における施設のコメント

素晴らしいプロジェクトを立ち上げていただき、区長をはじめ関係する皆様にご心より感謝いたします。施設では、卒業した子どもたちに対してアフターケアという支援を実施しています。このたびサポートを受けることになった卒園者たちが後輩たちにつないでいけるよう、私たち施設職員も引き続きフォローしていきます。

令和元（2019）年度に、当プロジェクトに賛同し、ご支援いただきました皆様におかれましては、誠にありがとうございます。

おかげさまで、令和元（2019）年度からサポートを始めた卒園者（第一期生）が、大学等を卒業するまで、サポートを継続するために十分にご支援をいただくことができました。

今後、板橋区では、令和元年度のサポートを受けた卒園者（第一期生）に対するサポートを引き続き行うとともに、新たに令和2年度からサポートを受ける卒園者（第二期生）の募集を行う予定です。

このため、令和2年度も、ふるさと納税型クラウドファンディングサイトを開設して、ご支援をお願いする予定です。

引き続き、皆様のあたたかいご支援をお願い致します。

児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクトのご案内ページ

検索サイトにて「児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト」で検索又は右記二次元バーコードを読み取り、アクセスしてください。



検索

児童養護施設住まい応援プロジェクト

お問合せ

住まい応援プロジェクトに関すること
板橋区子ども家庭部子ども政策課
TEL 03-3579-2454
寄付のお申込み・お支払いに関すること
板橋区区民文化部地域振興課
TEL 03-3579-2161



児童養護施設卒園者 住まい応援プロジェクト

令和元（2019）年実績



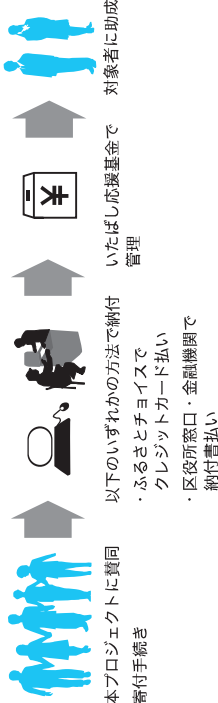
プロジェクトの趣旨・支援の状況

学生生活を送ることのできる生活環境を整え、すべての子どもたちに夢と希望を

高等学校卒業とともに施設を卒業して自立を求められることの多い児童養護施設出身者は、卒業後、生活の維持で精一杯となってしまい、進学することの困難な現状があります。

そこで、板橋区では、「児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト」と銘打ち、区内児童養護施設の卒園者のうち、大学等に在学する者を対象に、生活費のうち大きな割合を占める住まいにかかる費用（家賃等）の一部を助成することで、子どもたちが学生生活を送ることのできる環境を整え、引き続き夢を追い続けることができ、仕組みをつくり、皆様には、この助成を行うための資金について支援をお願いしてきます。

プロジェクトのイメージ



たくさんの方からのご支援をいただきありがとうございます

令和元(2019)年度は、助成希望者を3名募集し(当プロジェクトの第一期生)、当該希望者に対する助成に必要な資金のご寄付を募ったところ、あたたかいご支援を多数いただきました。令和元年度の必要経費を超えて集まった寄付額は、引き続き令和2(2020)年度の支援に活用されます。

<寄付及び助成実績>

寄付金額 **6,489,262 円** (256 件)
(令和元年 12 月 31 日現在)

家賃等助成額 **732,335 円** (3 名に助成)^{**}
(令和元年 4 月～令和 2 年 3 月)

※月当たり 3 万円を上限に、家賃等相当額の 1/2 を助成

卒園者の声

当プロジェクトによるサポートを受けている3名の卒園者から、ご支援いただいた皆様へのお礼のことはです。

この度は、私たち児童養護施設の卒園者に家賃助成を行っていただき、本当にありがとうございます。

私は、現在、大学で日本文学を学んでいます。2年生ともなると、質の高いレポートや発表内容が求められ、資料探しや考察をするだけでもかなりの時間を要します。しかし、生活のためにどうしようもなく授業よりアルバイトを大事にしていた時期もありました。

この助成金をいただけることになってからは、アルバイトを少し減らして学習にあてることができ、各授業で良い評価をいただいています。今後とも支援して下さる皆様の期待に添えるよう、精進して参ります。

私は現在、専門学校に通っています。

学校の授業ではカフェ開業に必要な技術やノウハウを学んでいます。将来バリスタを目指しているので、バリスタ実習を特に力を入れて頑張っています。

この助成金を受けられるようになり、少し生活に余裕が持てるようになりました。そのおかげで、私は学校で放課後にラテアートの練習をする時間をもてるようになりました。今までアルバイトだけの収入で正直、生活を送るのが精一杯でした。けれど、今は練習することができるのでバリスタに必要な技術面をより一層磨くことができている。無事、希望する就職先を見つけ現在はそこでアルバイトをしています。

大学に進学し、はじめは環境が大きく変わったため不安な事もありましたが、学業やアルバイトを両立しながら自分の夢に向かって日々邁進しております。秋からは、基礎的な授業から映像や音楽において専門的な事を学ぶようになったので以前より楽しく通えています。また、シェアハウスでの生活にも慣れ、一緒に暮らししている学生さんやスタッフの方々とも仲良く、和気あいあいと生活しております。大学に通いながらも無理なく住む所があるのは、沢山のの方々のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。

助成金を受けさせて頂くことで、大学の課題や試験勉強も余裕もてるようになり、夢のための制作活動も行えるようになりました。日々生活出来ている事のありがたみを忘れずに、これからも夢に向かって大学生生活を過ごしていきたいと思えます。